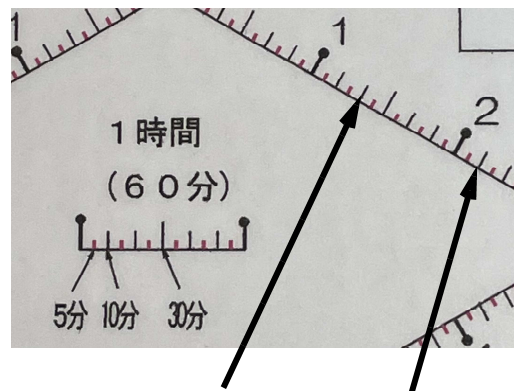


時こくと時間計算シート

和歌山 小田富生

時計の短針は「時」、長針は「分」を表わしているというのが一般的ですが、短針だけでもだいたいの時刻を知ることができます。文字盤の数字は短針用ですが、その間の小さな目盛は長針用（1目盛1分 1周で60分）です。この長針用の目盛を短針用の目盛に替えてやると短針だけで詳しく分まで（5分ごと）知ることができます。図のように1時と2時の間に5分刻みの目盛を打ってやるのです。



(1時20分) (2時10分)

例 1つ目は、1時20分。
2つ目は、2時10分。
です。

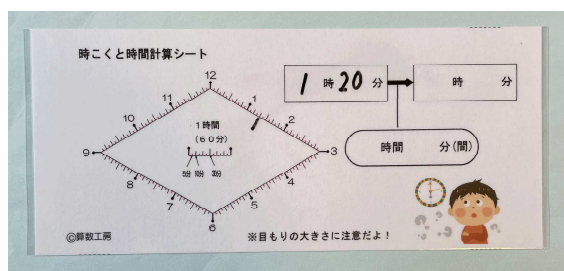
この目盛は、今までの見慣れた時計の目盛でもないし、長さの目盛でもありません。この目盛の違和感を克服し、読んだり書いたりすることができれば鬼に金棒となります。

一般的な時計の目盛との混乱を避けるため、ここではひし形の時計にしています。型紙をラミネートしてください。A4紙でシート3枚できます。それだけで完成です。ホワイトボード用ペンで書いたり消したりできます。まずは、この単針時計用文字盤の読み書きに慣れることが大事です。

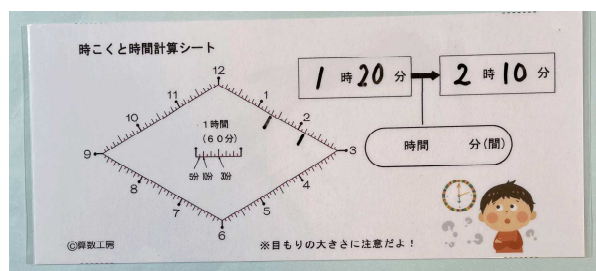
- ◎読む…針が指している時刻を読む
- ◎書く…時刻を聞いて針を書き込む

これができるようになれば、「何分間、何分後、何分前」などの時刻と時間の関係の問題にチャレンジしてください。例えば、「1時20分に宿題を始めて、2時10分に終わりました。宿題をしたのは何分間ですか。」という問題の場合。

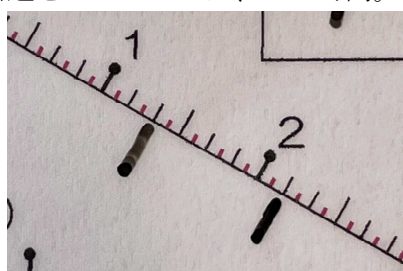
①時計に1時20分を書き入れる



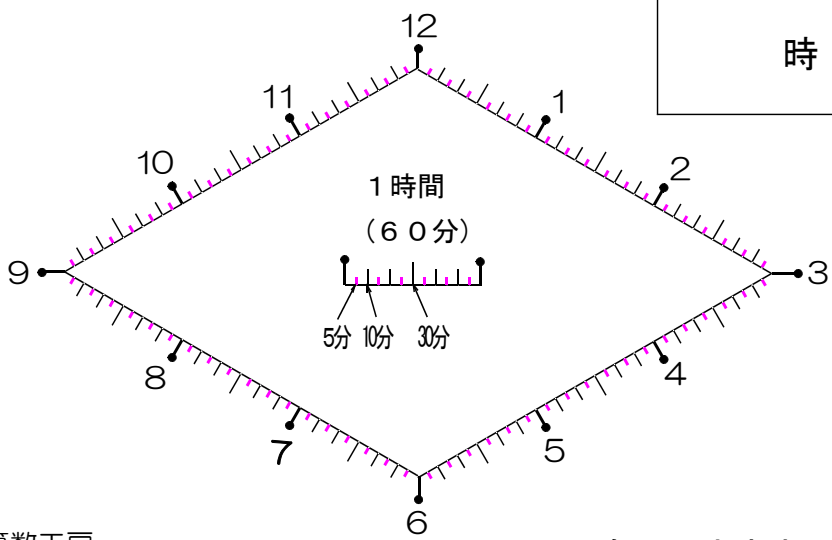
②2時10分を書き入れる



③宿題をしていたのは、この時間。→50分間



時こくと時間計算シート



時	分	→	時	分
---	---	---	---	---

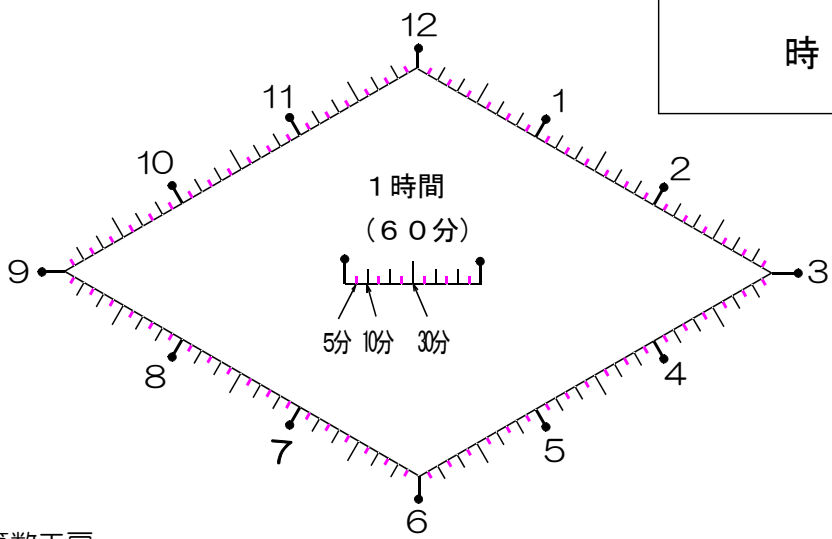
時間 分(間)



※目もりの大きさに注意だよ！

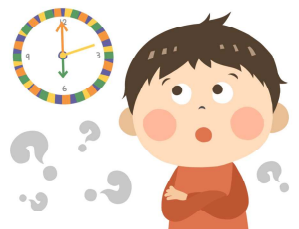
©算数工房

時こくと時間計算シート



時	分	→	時	分
---	---	---	---	---

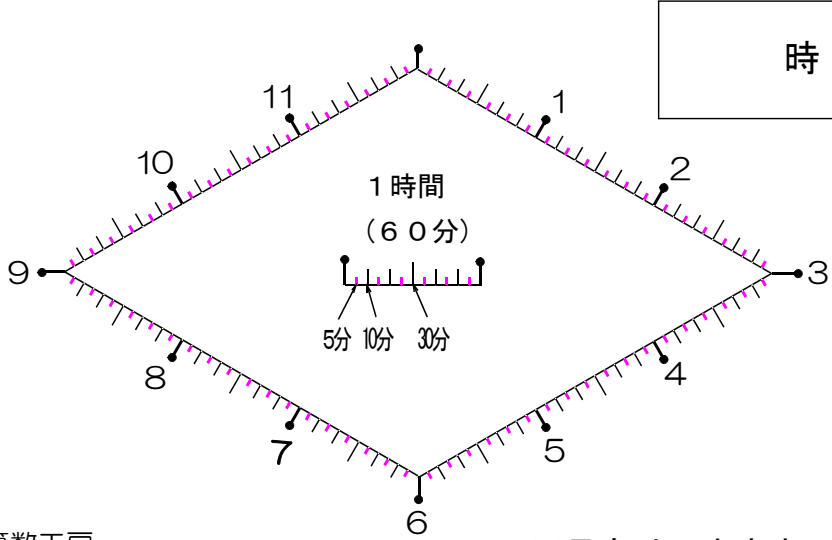
時間 分(間)



※目もりの大きさに注意だよ！

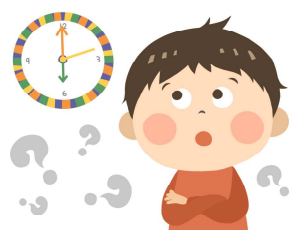
©算数工房

時こくと時間計算シート



時	分	→	時	分
---	---	---	---	---

時間 分(間)



※目もりの大きさに注意だよ！

©算数工房